

第2次健康たしかわ21後期アクションプラン（素案）の概要

○第2次健康たしかわ21後期アクションプラン策定の背景（P1～P7）

健康滝川21計画（H12～H22）

↓ 国：健康日本21第2次（H25～H34）
健康寿命の延伸、生活習慣病予防と重症化予防ほか

第2次健康たしかわ21アクションプラン（H25～H34）

・前期アクションプラン（H25～H29）

↓ 【中間評価】を行い

・後期アクションプラン（H30～H35）を策定

※滝川市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、国民健康保険データヘルス計画との整合性を図るため、当初計画から1年延長し、H30からH35までの6年間とする。

《基本方針》

- 第2次健康たしかわ21前期アクションプランの中間評価から健康課題を抽出、一次予防に重点に置いた対策を設定。
- 生活習慣病と重症化予防のため、医療・介護など様々な分野との連携を推進。
- 社会生活を営むための機能の維持向上を図るため、ライフステージに沿った事業を推進。
- 市民の健康意識や領域ごとの指標は、数値目標を設定し、成果や達成状況を評価するとともに見直しを行い、健康づくりの施策に反映。

○第2次健康たしかわ21後期アクションプランの構成

第1章 後期アクションプランの考え方

- 1 策定の趣旨
- 2 基本方針
- 3 第2次健康たしかわ21アクションプランの位置づけ
- 4 後期アクションプランの期間
- 5 進行管理と評価

第2章 滝川市の状況

- 1 滝川市の健康に関する状況
- 2 各種保健事業データでみる滝川市の健康状況

第3章 前期アクションプランの実績・中間評価と課題

- 1 前期アクションプランの実績
- 2 健康づくり6分野の目標と取り組み、実績及び中間評価

第4章 後期計画の重点対策と具体的な取り組み

- 1 栄養・食生活
- 2 身体活動・運動
- 3 こころの健康づくり（滝川市自殺対策計画）
- 4 たばこと健康
- 5 歯と口腔の健康
- 6 疾病予防

資料編

社会保障からみた滝川市の状況（国、北海道との比較）

第2次健康たしかわ21市民アンケート（単純集計結果、クロス集計結果）

○滝川市の特徴的課題と後期アクションプランの重点対策（P40～41、P42～P56）

《滝川市の特徴的課題》

- 朝食欠食は妊婦と小学生が悪化傾向。成人男性の欠食率は国と比較して高い状況。
- 日常的に運動習慣がある人は女性で減少傾向。
- 妊婦のパートナーや乳児の父親の喫煙率、女性の喫煙率が高い。
- 歯みがき習慣の定着は見られるが、歯みがきで出血する割合が20～30代で顕著に高い。
- 外来医療費に占める高血圧、糖尿病の割合が高く、特に高血圧の有所見率が全道に比べて著しく高い。

《推進体系》

6つの健康づくり分野とライフステージに応じた取り組み



市民・地域・行政が連携・協働して健康づくりを支援

《後期アクションプランの重点対策》

- 第3次滝川市食育推進行動計画と整合性を図り、食育を推進。
- 気軽に運動できる機会の創出と環境を整備。
- 子どもたちをたばこの害から守るため、普及啓発や相談支援等、受動喫煙防止対策を推進。
- 歯周病予防やよく噛んで食べることの効能を啓発し、歯周病予防と噛ミング30を推進。
- 生活習慣病の発症予防や重症化予防に向けて特定健診の受診勧奨強化、効果的なPR・指導等の取り組みを推進。